

” こんな新規事業があるよ ”

* 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業

- 1)モデル的な農業集落排水施設に係る施設機能診断。
- 2)農業集落排水施設のストックマネジメント手法の確立等。

* 詳しくは、別紙資料 1 を参考にしてください。

* 地域農業水利施設ストックマネジメント事業

- 1)施設の機能診断調査を実施し、劣化状況等を踏まえた機能保全計画を作成。
- 2)実施方針及び機能保全計画に基づいて、各種対策工事を実施。

* 詳しくは、別紙資料 2 を参考にしてください。

別紙資料 1

低コスト型農業集落排水施設更新支援事業(新規)

1. 趣 旨

- (1) 農業集落排水事業は、昭和58年に制度創設以来、5,000地区、350万人を対象に生活排水処理施設の整備を進め、「美しく快適なむらづくり」の実現に貢献してきたところである。
- (2) 下水道整備率は84%と高くなってきたが、さらなる整備推進を図っていくことが必要であるとともに、今後、多くの施設が経過年数の長期化を迎えることから、適時・適切な修繕と更新により施設の長寿命化を進めていくことが求められる。
- (3) また、今後の整備は、中山間等の条件不利地帯等が中心となることから、地理条件に応じたコスト縮減等の取組が重要になるとともに、人口減少や土地利用形態の変化等の将来予測に基づいた的確かつ弾力的な整備計画の策定が求められる。
- (4) このため本事業において、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するとともに、更なる低コスト化を図るための二次製品等を活用した処理方式の技術開発と併せ、今後の施設の将来計画についても、広域的観点で策定する必要があるとの観点から、既存施設の機能低下等の的確な状況掌握（施設機能診断）を通じた、地域の全施設を対象とした最適整備構想の策定について、モデル的な検討を行うものである。

2. 事業内容

- (1) モデル的な農業集落排水施設に係る施設機能診断
- (2) 農業集落排水施設のストックマネジメント手法の確立
- (3) 市町村等全域を対象とした、農業集落排水施設整備構想策定
- (4) 二次製品を活用した処理方式やコンパクトな処理方式の技術開発
- (5) (2) 及び(4) に係る設計・施工・管理に係る技術資料の作成

3. 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体：
 - (1) 及び(3)：市町村
 - (2)、(4) 及び(5)：民間団体等
- (2) 補 助 率 定 額

(3) 事業実施期間：平成 21 年度～平成 23 年度

事業メニュー -

1) 施設機能診断 (実施事業主体)

1 地区 200万円を上限(定額) 市町村

2) 最適整備構想策定

1 市町村 500万円を上限(定額) 市町村

3) 技術開発業務 (H20から継続) 民間団体

農業集落排水施設のストックマネジメント手法の確立

二次製品を活用した処理方式の技術開発

コンパクトな処理方式の技術開発

～ の設計・施工・管理の係る技術資料の作成

原則として、 については、1市町村当たり5地区程度また、 と のセットで実施

農業集落排水施設をいつまでも健全に維持する取組を支援します！

1. ござら…



施設が嵩んでいるところをよく見かけるな～
この間は、管が壊れていたって…
機械の調子も悪い時があるな～



機器類の不具合

コンクリートの劣化

管路内の破損

2. そこで…

施設の機能診断調査を実施しませんか？



実際に調べると施設の
状態がよくわかるな～
こんなところが傷んでるんだ…
大丈夫なところも結構あるな～

調査に掛かる経費は国が100%支援します！
(1地区200万円が上限)

4. これで安心！



将来の整備計画をつくりましょう！

調査・診断をしっかりと行い、将来の整備構想を
立てることで、施設の補修・補強の時期を的確に
判断でき、トータルとして、整備にかかるコストを
軽減できます！



施設の診断調査～整備計画の策定については、
国が作成したマニュアルが活用できます！

整備を行う際にも補助制度があります
(補助率・50%)



整備計画の策定に掛かる経費は国が100%支援します！
(1地区500万円が上限)

3. つぎに…

調査結果をもとに対策を考えましょう！

施設の状態を分析して、対策方法を考えます。
これにより、どの位コストがかかるのかが分かります。



あの施設は簡単な補修
で良いかな…
あそこマンホールと管
は、造り直した方が良さ
そうだな～

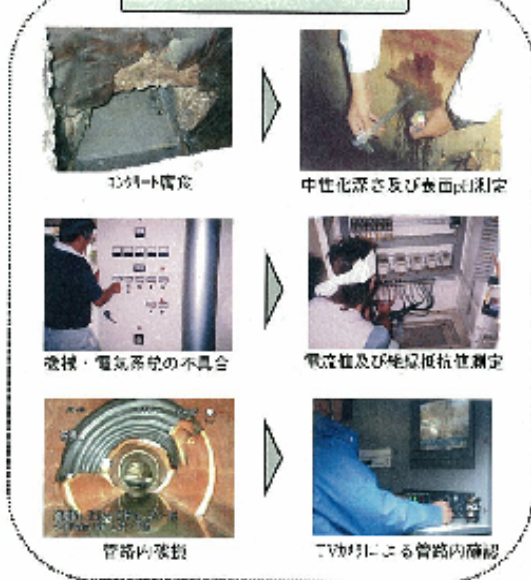


低コスト型農業集落排水施設更新支援事業

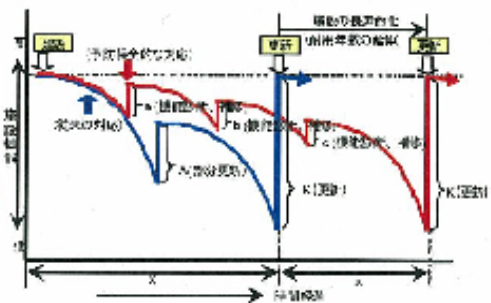
- ・モデル地区における施設機能診断を通じた、農業集落排水施設のストックマネジメント技術の確立・精度向上
- ・ストックマネジメント手法を活用した、地域の最適整備構想の策定支援

①ストックマネジメント技術確立

既存施設の機能診断



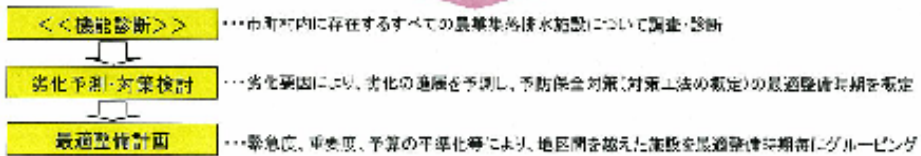
ストック・マネジメント手法の確立・精度向上



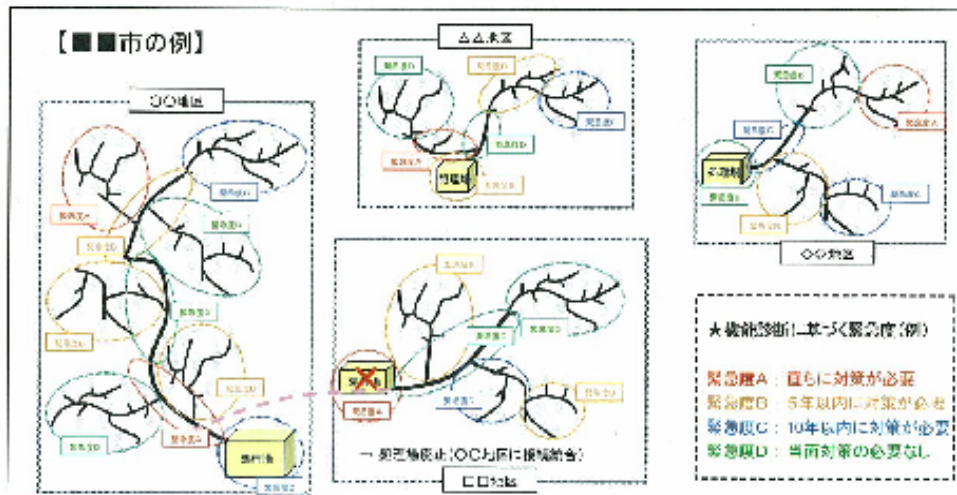
(検討項目)

- ①施設毎の機能診断手法の検討
- ②施設毎の劣化予測手法の検討取りまとめ
- ③機能診断・対策工法の検討取りまとめ

②最適整備構想の策定支援



【■■市の例】



別紙資料 2

地域農業水利施設ストックマネジメント事業 (団体営事業等により造成された農業水利施設の機能保全)

〈目的〉

- * 団体営造成施設が老朽化が進行して、効率的な施設機能の保全に取り組みたい。
- * 当面今の施設を使いたいと思うけれど、だいぶ老朽化しているし、壊れた時にはすぐに対応できるような事業はないのだろうか。

以上の目的を達成するために本事業により当面の間、施設群の機能を維持していくための実施方針を都道府県に策定していただきます。

- ・機能保全計画に基づき全面的な更新、部分的な更新、予防保全工事等を選択的に実施できます。
- ・経年劣化に起因した事後保全（突発事故）対策、省力化や環境配慮などの追加整備も行えます。
- ・都道府県土地改良事業団体連合会によるストックマネジメントに関する技術指導に対し助成します。

具 体 例

- * 施設の機能診断調査を実施し、劣化状況等を踏まえた機能保全計画を作成（末端支配面積 100ha 以上の施設に限り助成）
- * 実施方針及び機能保全計画に基づいて、各種対策工事を実施（受益面積 10ha 以上）

事業実施主体

市町村、土地改良区等

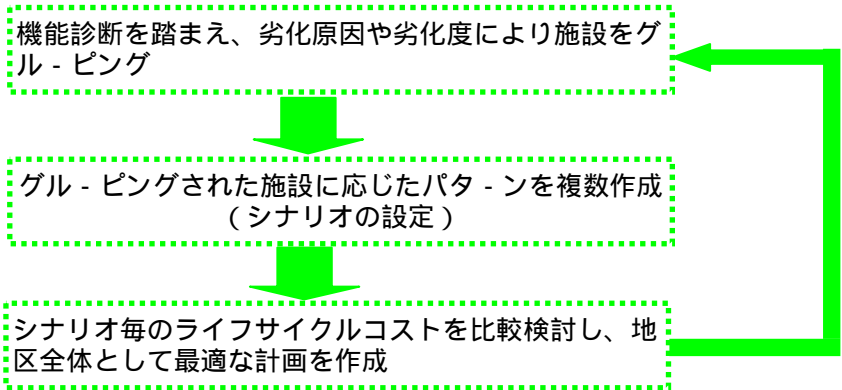
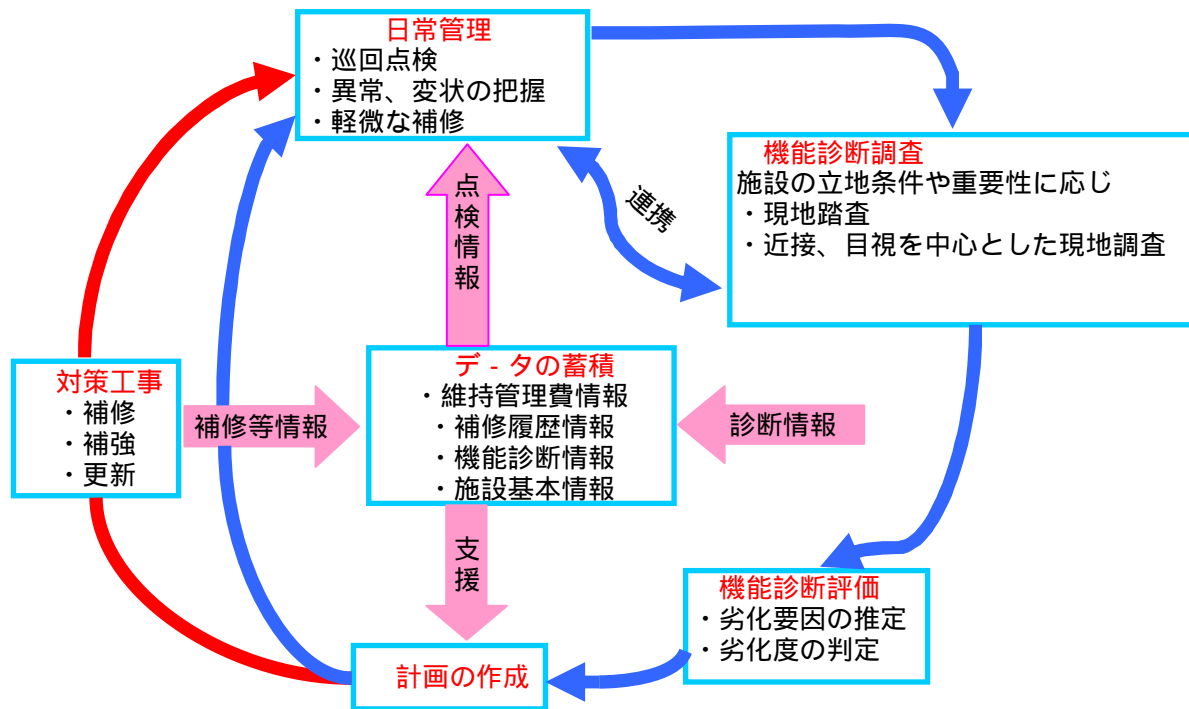
採 択 要 件

受益面積 10ha 以上の地区

補 助 率

- (1) 機能保全計画の策定 50% (末端支配面積 100ha 以上の施設)
- (2) 対策工事の実施 50% (6法指定地域等 55%、沖縄 80%、奄美 60%)
- (3) スtockマネジメントに関する技術指導等 50%

事業の流れ



用語の解説

【ストックマネジメント】 機能診断に基づく「機能保全対策の実施」を通じて、既存施設活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するための技術体系及び管理手法の総称

【機能診断調査】 施設機能のの状態、劣化の過程及びその原因を把握するための調査

【機能診断評価】 機能診断調査の結果の評価

【ライフサイクルコスト】 施設の建設に要する経費に、併用期間中の運転、補修等の管理する経費及び廃棄に要する経費を合計した金額